



## 2023年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月14日

上場会社名 株式会社ノダ

上場取引所 東

コード番号 7879 URL <https://www.noda-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 励

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 良知 正啓

TEL 03-5687-6222

四半期報告書提出予定日 2023年7月14日

配当支払開始予定日

2023年8月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年11月期第2四半期の連結業績(2022年12月1日～2023年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第2四半期	35,314	8.6	2,578	45.1	2,691	46.0	1,565	47.5
2022年11月期第2四半期	38,641	24.7	4,694	200.2	4,985	186.8	2,983	183.6

(注) 包括利益 2023年11月期第2四半期 2,389百万円 (42.0%) 2022年11月期第2四半期 4,117百万円 (179.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第2四半期	97.50	
2022年11月期第2四半期	183.22	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年11月期第2四半期	74,015	42,466	50.8	2,340.14
2022年11月期	76,632	40,730	47.1	2,248.63

(参考) 自己資本 2023年11月期第2四半期 37,572百万円 2022年11月期 36,103百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期		30.00		30.00	60.00
2023年11月期		30.00			
2023年11月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,600	3.0	6,300	35.7	6,400	38.1	3,600	40.6	224.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期2Q	17,339,200 株	2022年11月期	17,339,200 株
期末自己株式数	2023年11月期2Q	1,283,586 株	2022年11月期	1,283,586 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期2Q	16,055,614 株	2022年11月期2Q	16,285,139 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年12月1日～2023年5月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進みましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、資材価格・電力料の高騰、不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅業界におきましては、建築コストの高騰や物価上昇により住宅取得マインドの低下が懸念されるなか、住宅需要は一部で弱含みの状態が続いており、持家や分譲戸建ての新設住宅着工戸数が前年同期比で減少いたしました。また、国内の木材需給が緩和するなか、合板についても荷動きの低迷が続いており、国内合板相場は期初から調整局面で推移いたしました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、収益確保のため、固定費のコントロールや生産性の向上、原材料の見直しなど各種コストダウンの徹底に取り組みました。また、全面リニューアルした内装建材の新シリーズ「カナエル」(1月先行発売、4月本格発売)の拡販のため提案活動に注力するとともに、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、需要動向に即した適切な仕入・生産・販売に努めました。しかし、原材料や副資材、電力、物流など様々なコストアップによって利益が圧迫され、さらに、住宅の着工減や流通各社の在庫圧縮もあり販売量が伸び悩みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高35,314百万円(前年同期比8.6%減)、営業利益2,578百万円(前年同期比45.1%減)、経常利益2,691百万円(前年同期比46.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,565百万円(前年同期比47.5%減)となりました。

## ◇セグメント別の状況

## 〔住宅建材事業〕

住空間に対するニーズの多様化に応えるため、意匠性や機能性を高めた高付加価値製品の提案を強化するとともに、リフォーム・リノベーションや非住宅分野の需要獲得に向けて、各種防音フロアやバリアフリー商品群「ユニバーサルディレクト」の拡販に注力し、シェアの確保に努めました。

また、これらの取り組みと並行して、“あなたらしさを新しくする”をコンセプトに、自分らしい暮らしをかなえるための提案を盛り込んだ新シリーズ「カナエル」を拡販するため、全国各地での展示会開催やWeb・SNSの活用など各種提案活動を徹底し、既存顧客への早期浸透や新規顧客の獲得を図りました。

しかし、原材料コスト等が高騰するなか建材・MDF製品全般の販売価格を改定し、収益の確保に努めましたが、コストアップの吸収には至らず採算性が著しく低下いたしました。また、住宅需要が弱含みで推移するなか、製品全般の販売量が大幅に減少いたしました。この結果、住宅建材事業の売上高は20,762百万円(前年同期比5.4%減)、セグメント利益は176百万円(前年同期比87.8%減)となりました。

## 〔合板事業〕

合板については、国産・輸入いずれも需要の減少が顕著に表れ、国内合板相場が調整局面で推移するなか、販売量は大幅に減少いたしました。

国産針葉樹合板は、前第4四半期から国内出荷量の減少によりメーカー在庫が急激に増加したため、当社グループを含めた合板メーカー各社は生産調整を実施いたしました。当期に入ると、出荷量はさらに落ち込み、適正在庫水準を維持するため生産調整を継続いたしました。

輸入南洋材合板は、前第3四半期以降、国内需要の低迷と港頭在庫の増加から出荷が落ち込み、当期も出荷の低迷が続きました。また、前期の産地価格上昇と急激な円安で仕入コストは高騰しており、採算性が低下いたしました。

この結果、合板事業の売上高は14,551百万円(前年同期比12.8%減)、セグメント利益は3,311百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

## 〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高(百万円)	前年同期比(%)	構成比(%)	セグメント利益(百万円)	前年同期比(%)
住宅建材事業	20,762	△5.4	58.8	176	△87.8
合板事業	14,551	△12.8	41.2	3,311	△21.0
調整額※	—	—	—	△908	—
合計	35,314	△8.6	100.0	2,578	△45.1

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(2) 財政状態に関する説明

◇資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は74,015百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,616百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少1,174百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少2,846百万円、製品の増加1,047百万円、仕掛品の増加318百万円、原材料及び貯蔵品の減少573百万円、機械装置など有形固定資産の増加650百万円、投資有価証券の増加346百万円などによるものです。

負債は31,548百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,353百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少2,954百万円、短期借入金の増加282百万円、未払金の減少534百万円、未払法人税等の減少1,847百万円、長期借入金の増加1,553百万円などによるものです。

純資産は42,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,736百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加1,565百万円及び配当による利益剰余金の減少481百万円、その他有価証券評価差額金の増加275百万円、非支配株主持分の増加266百万円などによるものです。

◇キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,174百万円減少し、20,297百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動におけるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が2,655百万円となり、減価償却費の計上による995百万円の増加、売上債権の減少による2,845百万円の増加、棚卸資産の増加による725百万円の減少、仕入債務の減少による2,952百万円の減少、法人税等の納付による2,457百万円の減少などの要因から、14百万円の収入（前年同期は2,581百万円の収入）となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは、設備投資など有形固定資産の取得による2,358百万円の減少などの要因から、2,178百万円の支出（前年同期は1,369百万円の支出）となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは、長期借入れによる2,500百万円の増加、長期借入金の返済による649百万円の減少、配当金の支払いによる481百万円の減少などの要因から、998百万円の収入（前年同期は519百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月期第2四半期連結累計期間の業績は、前回（本年1月17日）公表した予想値に対し、売上高・利益とも下回る結果となりました。

第3四半期以降の取組みとしては、「カナエル」の早期定着・拡販のため既存顧客への提案強化や新規顧客の獲得、耐震性や劣化軽減性に優れたMDF製品である構造用ハイベストウッド(HBW)の拡販、需要動向に即した合板製品の生産・仕入管理の徹底、固定費のコントロールなど各種施策を実行し、業績の回復に努めてまいります。

なお、通期業績予想につきましては、新設住宅着工戸数や国内合板相場など今後の需要動向が依然として不透明であることを踏まえ、前回公表した予想を据え置いております。今後、修正が必要になった場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,869,756	20,695,097
受取手形、売掛金及び契約資産	15,496,313	12,650,126
製品	8,126,313	9,174,251
仕掛品	1,250,192	1,568,770
原材料及び貯蔵品	4,032,173	3,459,120
その他	619,779	496,128
流動資産合計	51,394,529	48,043,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,991,150	3,145,254
機械装置及び運搬具(純額)	3,974,815	5,061,310
工具、器具及び備品(純額)	341,741	388,184
土地	6,154,017	6,232,928
立木	126,295	123,350
リース資産(純額)	257,381	237,263
建設仮勘定	933,701	241,274
有形固定資産合計	14,779,103	15,429,567
無形固定資産	759,730	641,875
投資その他の資産		
投資有価証券	7,254,797	7,601,746
繰延税金資産	1,681,448	1,553,408
その他	764,525	747,264
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	9,698,772	9,900,419
固定資産合計	25,237,605	25,971,861
資産合計	76,632,135	74,015,356

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,201,515	11,247,103
短期借入金	6,255,696	6,537,832
1年内償還予定の社債	21,560	-
未払金	2,271,733	1,737,194
賞与引当金	-	950,976
未払法人税等	2,585,829	737,953
設備関係支払手形	559,347	696,130
その他	2,484,316	793,229
流動負債合計	28,379,999	22,700,419
固定負債		
長期借入金	792,770	2,345,990
リース債務	581,224	465,521
環境対策引当金	17,128	16,028
長期末払金	140,980	69,420
退職給付に係る負債	5,978,668	5,940,379
その他	10,750	10,750
固定負債合計	7,521,521	8,848,089
負債合計	35,901,520	31,548,509
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	32,200,048	33,283,817
自己株式	△706,189	△706,189
株主資本合計	35,222,681	36,306,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,105,362	1,380,612
繰延ヘッジ損益	△28,894	2,450
為替換算調整勘定	138,826	181,704
退職給付に係る調整累計額	△334,846	△298,776
その他の包括利益累計額合計	880,447	1,265,991
非支配株主持分	4,627,486	4,894,405
純資産合計	40,730,615	42,466,847
負債純資産合計	76,632,135	74,015,356

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)
売上高	38,641,148	35,314,471
売上原価	27,389,141	26,140,972
売上総利益	11,252,007	9,173,498
販売費及び一般管理費	6,557,208	6,594,558
営業利益	4,694,798	2,578,939
営業外収益		
受取利息	1,237	1,136
受取配当金	9,619	9,806
受取保険金	-	3,663
持分法による投資利益	272,334	74,109
為替差益	16,170	30,602
その他	46,973	57,467
営業外収益合計	346,336	176,786
営業外費用		
支払利息	29,866	35,762
売上債権売却損	12,906	14,072
訴訟関連費用	3,700	-
その他	9,106	14,713
営業外費用合計	55,579	64,548
経常利益	4,985,555	2,691,178
特別利益		
固定資産売却益	-	1,992
投資有価証券売却益	-	1,157
補助金収入	-	252,480
特別利益合計	-	255,630
特別損失		
固定資産除却損	45,439	38,391
固定資産圧縮損	-	252,480
特別損失合計	45,439	290,871
税金等調整前四半期純利益	4,940,116	2,655,938
法人税、住民税及び事業税	1,472,168	678,914
法人税等調整額	△41,907	△22,669
法人税等合計	1,430,261	656,245
四半期純利益	3,509,854	1,999,692
非支配株主に帰属する四半期純利益	526,116	434,255
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,983,738	1,565,437



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)
四半期純利益	3,509,854	1,999,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166,176	290,101
繰延ヘッジ損益	11,885	31,345
為替換算調整勘定	121,223	83,625
退職給付に係る調整額	35,492	36,070
持分法適用会社に対する持分相当額	272,981	△50,935
その他の包括利益合計	607,759	390,208
四半期包括利益	4,117,613	2,389,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,531,905	1,950,980
非支配株主に係る四半期包括利益	585,707	438,919

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,940,116	2,655,938
減価償却費	1,003,201	995,081
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△1,992
補助金収入	-	△252,480
固定資産除却損	45,439	38,391
固定資産圧縮損	-	252,480
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△2,608	△1,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,080,517	950,976
受取利息及び受取配当金	△10,857	△10,942
支払利息	29,866	35,762
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1,157
持分法による投資損益(△は益)	△272,334	△74,109
売上債権の増減額(△は増加)	△2,257,628	2,845,292
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,845,820	△725,709
仕入債務の増減額(△は減少)	2,425,693	△2,952,117
未払消費税等の増減額(△は減少)	46,929	△468,553
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,109	26,678
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△812,173	△1,309,271
その他	176,747	453,332
小計	3,566,198	2,456,497
利息及び配当金の受取額	43,219	51,310
利息の支払額	△30,851	△34,928
災害損失の支払額	△23,031	-
法人税等の支払額	△973,757	△2,457,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,581,778	14,944
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△230,000	△230,000
定期預金の払戻による収入	230,000	230,000
投資有価証券の取得による支出	△598	△600
投資有価証券の売却による収入	-	5,307
有形固定資産の取得による支出	△1,297,866	△2,358,887
有形固定資産の除却による支出	△53,680	△81,435
貸付けによる支出	△1,620	△850
補助金の受取額	-	252,480
その他	△15,446	4,997
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,369,212	△2,178,988

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年12月1日 至2022年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	392,936	△14,864
長期借入れによる収入	200,000	2,500,000
長期借入金の返済による支出	△571,640	△649,780
社債の償還による支出	△19,880	△21,560
リース債務の返済による支出	△155,795	△161,902
配当金の支払額	△317,560	△481,668
非支配株主への配当金の支払額	△48,000	△172,000
自己株式の取得による支出	△43	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△519,982	998,224
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,806	△8,839
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	683,777	△1,174,658
現金及び現金同等物の期首残高	20,224,978	21,471,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,908,756	20,297,097

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。